

2月のお代官様～タヴィスプレバ(自由)

ケミファミ 朝草魚 栄へて見てたら 私の烏賊針
近なり 開けたら 空き巣 蹴れば 見せ笑み
友 助けてえな 父 傘で矢とり 余り さも かしまし娘
誰か 称えそ でいば 耐えそ ヒーハー でいば



はい、怪しい呪文じゃないですよ。二島杯で人が集まらなくて、おかしくなった訳じゃありませんよ。今年9月開催のラグビーワールドカップに備えて、参加国の国歌を覚える努力をしています。これは、ジョージア国歌を覚えるために、ロシア語のアルファベットより難解な象形文字を耳で聞いて日本語に置き換えたものです。



ジョージア、知ってますか？元はソビエト連邦の構成国で、1991年に独立した、黒海に面する南コーカサスの共和国です・・・と紹介しても良くわかりませんね。旧姓グルジア、東ヨーロッパとアジアの間にある、レスリングと柔道のような格闘技が強い国です。ラグビーも身体の大きな選手ばかりで、バックスからスクラムハーフまで、超フォワード体型で、スクラムが得意技。世界からの評価は、南半球4か国(Nz・南ア・豪州・アルゼンチン)と北半球6か国(英国4か国・フランス・イタリア)の次に位置する第二グループで、日本やフィジーあたりと同等に扱われますから、負けるわけにはいきませんね。



2015年の大会では、相手チームへのリスペクトという意味で、南アフリカ国歌を覚えてブライトンのスタンドで観戦しました。結果は、W杯史上最大の番狂わせで、歴史の証人となることができました。今回もアイルランド、スコットランド、ロシア、サモアという予選リーグで対戦する全チームの国歌は、それらしく歌えるはずですが、別のリーグを観戦する際に歌えたらと思って努力しています。さてさて、参加の20か国すべての国歌を覚えることができるのでしょうか。目標ですから、無理はしないつもりです。



さて2月、世界の祭典・ラグビーワールドカップに備えてますが、地域のバドミントンの祭典・第16回新二島杯に備えて、日々精進しております。そんな毎日の写真を添えて、ダヴィスプレバを覚える努力を続けます。

平成31年2月12日記

[トップ](#) [戻る](#)

[3月のお代官様～ニャンコとお魚](#)